

東建パブリニュース

平成30年7月3日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成30年5月21日 岐阜新聞 P.15

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。



境内で行われた刀剣奉納鍛錬＝三重県桑名市、多度大社

刀剣の魅力伝える

東建が小中学生に勉強会

多度大社

小中学生を対象にした刀剣奉納鍛錬見学と日本刀の勉強会が、刀鍛冶の神「天目一箇神」が祭られている三重県桑名市の多度大社で開かれた。

建設業の東建コーポレーション（名古屋市中区）が、日本の伝統

建設業の東建コーポレーション（名古屋市中区）が、日本の伝統

文化の継承・推進を目的に行った。参加費で、地元の小中学生の親子ら約60人が日本刀の魅力や見どころについて、実際の刀に触れながら刀剣商の村上一夫さんから学んだ。

境内では左右田鑑穂東建コーポレーション

社長兼会長や尾関健治関市長、伊藤徳宇桑名市長が出席して刀剣奉納鍛錬が行われ、参加者は関市の無鑑査刀匠の尾川兼国さんらによる刀の制作工程の「折り返し鍛錬」や「焼き入れ」を見学。炎や飛び散る火花の迫力に圧倒されていた。

尾関市長は「桑名は刀匠村正の活躍した土地。刀が取り持つ縁を大切にしていきたい」と話した。今回制作される刀は来年4月に同社から多度大社に奉納される予定。

（伊藤伸久）

以上